
はじめに

「市民が明るく豊かでいきいきと暮らせるまち」の実現をめざし、2012年を目標年次とする健康づくりの行動計画「いきいき瀬戸21 健康日本21瀬戸市計画」を2003年に策定しました。

この計画の特徴は、市民自らが、生活習慣病やその予防に対する正しい知識をもち、疾病の発症を予防し、健康づくりに取り組むために、9つの分野（栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康づくり、たばこ、アルコール、歯の健康、糖尿病、循環器病、がん）ごとの目標・目標値を示したこと、及び、市民・行政・企業などみんなで取り組むことにより健康づくりの効果を上げることのできるウォーキングや分煙を重点対策に掲げたところにあります。



この「いきいき瀬戸21 健康日本21瀬戸市計画」の策定から、5年が経過いたしました。

計画策定時には十分に内容を検討し、目標指標や行政や関係機関、民間団体の取り組みなどを設定しましたが、策定後に健康増進法が施行されるなど健康づくりを取り巻く環境が変化しています。そこで、これまでの推進状況を評価し、残された5年間の計画期間において、市民一人ひとりの健康づくりが円滑に推進できるように、計画を見直すことといたしました。

評価方法の変更などで評価できない指標もありますが、多くの保健医療関係者の方々にご協力いただき、評価・見直しについての検討を行い、さらに、市民の皆様にご協力いただき、生活習慣関連調査を通して貴重なご意見をいただき、まとめさせていただいたものが本計画です。

これからの5年間、本計画の趣旨を踏まえ、市民の健康づくりが一層図られるように努めてまいります。

最後に、この計画の策定にご参画いただきました「いきいき瀬戸21計画推進委員会」の委員の皆様及びアンケート調査にご協力いただきました市民の皆様に心より感謝申し上げます。

平成20年3月

瀬戸市長 増岡錦也
